

令和6年度

2024年4月29日

ありんこグループ 決起集会

NPO法人民間児童館おおきなかぶ

エンカレッジ・ステーション株式会社

社会福祉法人ありんこ会



本日の予定

第1部 9時30分～12時15分

1. 少子化2025年問題 ～これからの保育園のあり方～
2. 令和6年度の方針について
3. 昨年度の目標の反省と今年度の目標発表
 - ・エンカレッジ・スクール
 - ・子育て支援すくすくクラブ
 - ・おおきなかぶ学童保育
 - ・ありんこの森保育園
 - ・ありんこ親子保育園
4. ディスカッション
少子化2025年問題を前に、自分ができることを考える
5. まとめ

第2部 12時30分～15時 懇親会 @ばんどう太郎（

ありんこグループの歩み

人材育成研修 へ発展

すべての始まりは
H18年(2006)4月
『行政と住民協働によるまちづくり推進
会議』
子どもの居場所部会

子どもたちと
自分たちの
居場所を創る
プロジェクト
が始まった

小さく産んで
大きく育てる

H19年(2007)4月



NPO法人 民間児童館
おおきなかぶ

H19年(2007)12月
インカレッジ・ステーション(株)設立
セミナー事業
・母親セミナー
・子育てコーチング
・社会人コーチング

H20年(2008)4月



社員21人

R1年(2020)6月
社会福祉法人ありんこ会
未来に向かって準備
児童福祉事業への取組み
強化

H27年(2015)4月



H29年(2017年)3月
認可保育園移行
R1年10月
社会福祉法人へ移管

H28年(2016)4月

社員36人



R6年4月
こども園 陳情成立
実現へ前進

社員40人

R4年(2022)8月



財務基盤の強化
人材の育成

ありんこグループのこれから

22世紀 2100年

児童福祉政策や
制度・ニーズの
変化に応じて変
わっていく

R10年(2028年)
市・認定こども園
公募に応募

R7年(2025年)
市 学童保育・児童
発達支援センターへ
応募

100年後の姿

豊かな社会を創造し続ける
グループとなって
児童福祉分野で活躍しつづ
けている

発達障害児
療育事業 強化

ともに学び、ともに笑い
ともに働き、ともに願う
そういう社会にする

認定こども園に
挑戦
子ども・子育て推進
計画



ともに生きる人々に喜び
がなければ
自分たちに真の喜びはない

財務基盤の強化
人材の育成

少子化により
保育所受難時代
選ばれる保育所

2025年問題とは・・・

- ・ 保育所利用児童数は**2025年**がピーク
以後 徐々に減少する
つまり保育所は定員を下回り経営が悪化する
ことが想定される(厚労省)
- ・ 地方は減少が都市部よりも早い
経営難から**保育所の統廃合**が行われる
→ 大網は幼稚園が先行

2025年問題とは・・・

- ・ しかし、保育所はなくなる
これからは、働く保護者が抱える様々な
ニーズや、**地域の実情**にマッチした保育施設が
選ばれる時代となる
広報・差別化・地域との連携 様々な**主体的**
取り組みが求められる

2025年問題を乗り越える

- ・ 長く在園してもらうための施策

質の向上 : 保育内容と保育士

働きやすい職場環境づくり・給与と待遇
への配慮

- ・ さまざまな努力

保育士はより高い専門性やスキルを求められる

自分自身に磨きをかける

県内の天気

北西部

予想気温
最高 26
最低 15

降水確率
6時 10 12 0 18 24 0

風向 ↓ ↓

波 0.5m

北東部

予想気温
最高 22
最低 16

降水確率
6時 10 12 0 18 24 0

発行所 郵便番号 260-8628



県内22市町「消滅可能性」

20〜30代女性30年で半減

人口戦略会議 地域特性踏まえ対策を

経済界有志らでつくる民間組織「人口戦略会議」は24日、人口減少の深刻化により将来的に「消滅の可能性」がある」とする自治体を発表した。県内では全54市町村のうち40%に当たる22市町が「消滅可能性自治体」とされた。2020〜50年の30年間で、子どもを産む中心世代となる20〜30代の女性が50%以上減るとの推計を根拠とした。国や自治体に対しては、人口の動きは地域によって異なるとして、特性に応じた対策を求めた。

(関連記事17面)

県内ではこの他、1,000人口の自然減と社会減の双方の対策が極めて必要な「特に構造的に深刻な自治体」とされた銚子市。担当者は「判定されたことは深刻に受け止めていると話す。背景を「若い世代の働く場がないこと」と分析し、総合戦略にも掲げる若者の働く支援、移住定住策などを

「自立持続可能性自治体」

2市、人口流入が多いものの出生率が低い「ブラックホール型自治体」2市町、いずれにも該当しない「その他」28市町村だった。「消滅可能性」の中でも、

人口戦略会議による県内市町村の分類と将来人口予想

9分類	2050年人口※移動あり(人)	若年女性人口増減率(%)	2050年人口※移動なし(人)	若年女性人口増減率(%)	
千葉市	D①	897,073	▼19.0	768,430	▼41.4
鎌子市	C③	28,770	▼67.5	33,485	▼50.9
市川市	D①	483,307	▼15.0	416,876	▼48.3
船橋市	D①	651,603	▼6.0	531,602	▼39.8
館山市	D③	30,710	▼45.3	27,693	▼32.3
木更津市	D①	133,860	▼12.7	109,776	▼29.9
松戸市	D①	476,057	▼15.7	397,569	▼43.2
野田市	D③	131,593	▼20.7	112,103	▼35.8
茂原市	D③	63,935	▼42.3	59,694	▼38.7
成田市	D①	127,821	▼15.9	109,511	▼46.3
佐倉市	D③	135,752	▼26.7	121,189	▼35.3
東金市	D③	43,866	▼40.8	42,371	▼43.1
旭市	D③	45,570	▼41.4	46,166	▼34.5
習志野市	D①	175,271	▼10.3	150,697	▼36.5
柏市	D①	435,479	▼7.3	354,947	▼34.5
勝浦市	C②	8,815	▼54.2	9,710	▼37.9
市原市	D③	207,507	▼36.0	202,031	▼34.2
流山市	A	241,539	△2.4	188,067	▼20.0
八千代市	D①	195,520	▼9.7	165,998	▼34.0
我孫子市	D③	112,074	▼20.2	97,275	▼36.4
鴨川市	D③	22,407	▼32.1	20,580	▼48.7
鎌ヶ谷市	D①	103,245	▼13.1	83,515	▼41.9
君津市	D③	54,982	▼48.2	58,925	▼33.1
富津市	C②	24,286	▼60.6	25,992	▼38.4
浦安市	B①	163,769	▼14.3	147,553	▼56.2
四街道市	D①	89,822	▼11.4	75,986	▼23.6
袖ヶ浦市	D①	62,246	▼17.2	54,246	▼20.8
八街市	C②	42,276	▼63.2	45,060	▼47.6
印西市	A	119,819	▼1.5	95,797	▼9.1
白井市	D①	55,915	▼18.3	50,684	▼20.1
富里市	D③	40,574	▼32.1	37,416	▼43.2
南房総市	C②	19,201	▼52.9	19,289	▼24.9
匝瑺市	C②	20,643	▼58.6	22,782	▼35.5
香取市	C②	40,605	▼60.1	45,675	▼40.1
山武市	C②	27,339	▼65.9	30,510	▼42.2
いすみ市	C②	20,218	▼54.6	21,142	▼28.0
大網白里市	D③	37,560	▼38.7	33,407	▼36.7
酒々井町	B②	15,329	▼33.4	14,175	▼64.0
栄町	C②	10,885	▼64.5	12,330	▼47.6
神崎町	C②	3,697	▼66.9	3,797	▼33.1
多古町	C②	8,018	▼65.3	8,818	▼32.0
東庄町	C②	6,895	▼69.8	8,207	▼29.9
九十九里町	C②	7,210	▼69.6	8,150	▼60.0
茨山町	C②	4,148	▼66.2	4,290	▼47.2
機張光町	C②	13,382	▼62.8	14,342	▼32.0

大網は女性の流出を防げば存続可能性あり

課題は出産できる女性が流出すること。女性にとって魅力ある都市にしなければ消滅する

女性が働きやすい場所を作っていく。保育所が近くにあるはキーワード!

らも、「どこも手詰まり感があるのでは」と話す。君津地域4市の中で唯一消滅可能性とされた富津市の担当者は「人口減対策に特効薬はない」とし、子育て支援などの事業を重層的に続けることが必要とした。

県内唯一の村で人口約1万3千人の長生村は2050年には1万人を下回る推

計で、村の人口ピッチリもやや厳しい内容だ。担当者は「今また強力で移住促進などを進めていきたい」と

一方「自立持続可能性」とされた流山市の担当者は「喜ばしい」と歓迎しつつ、「小児科の公共施設不足が懸念。高齢化や将来的減も見据える必要がある」と引き続いた。

全国では、全体の74.4%に当たる744自治体が「消滅可能性」とされている。人口戦略会議メンバーも「日本郵政社長が務めた「日本創成会議」

日本の出生数推移

図表1-1-7 出生数、合計特殊出生率の推移

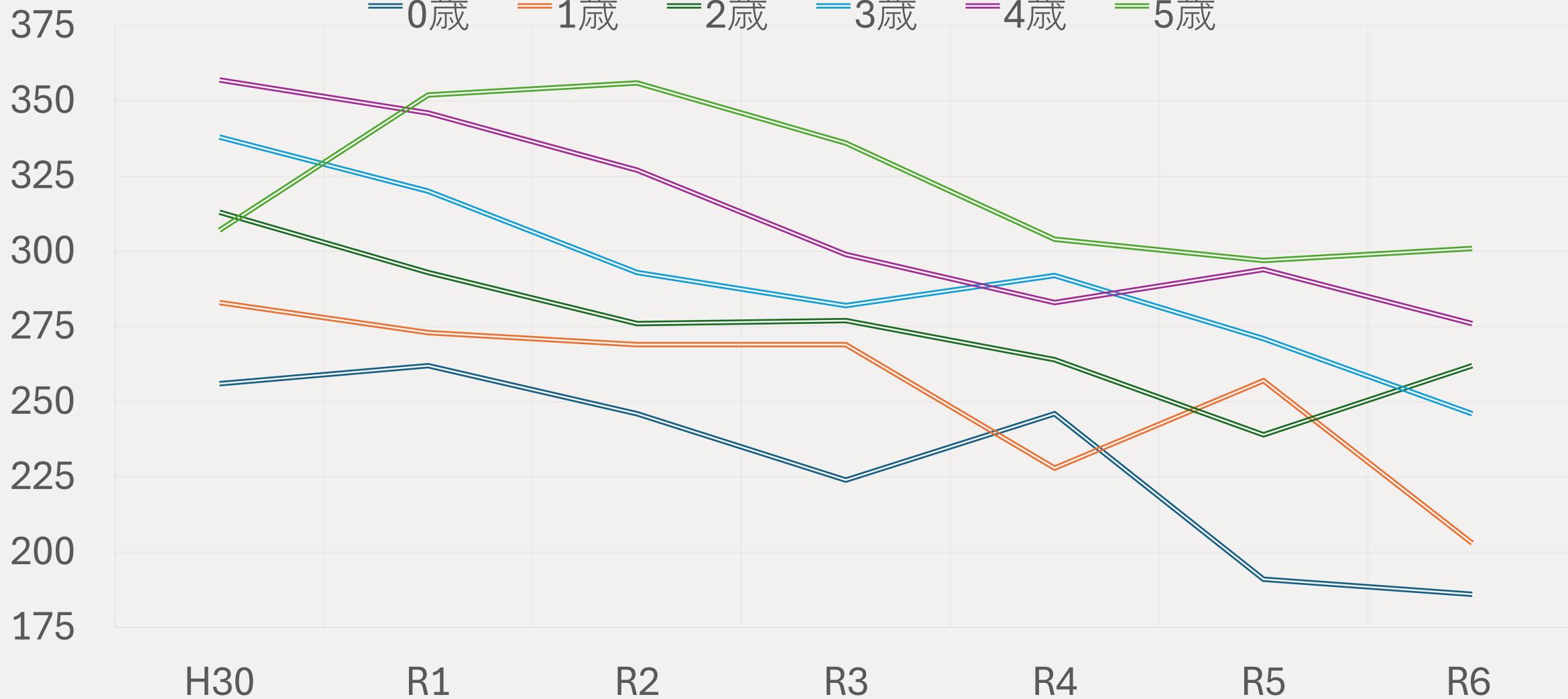
	出生数（人）	合計特殊出生率
1950年	2,337,507	3.65
1960年	1,606,041	2.00
1970年	1,934,239	2.13
1980年	1,576,889	1.75
1990年	1,221,585	1.54
2000年	1,190,547	1.36
2010年	1,071,305	1.39
2015年	1,005,721	1.45
2020年	840,835	1.33
2021年	811,622	1.30
2022年	770,759	1.26
2023年	758,631	1.20
2040（推計）	740,000	1.43

大網白里市 乳幼児人口動態

児童数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
H30	256	283	313	338	357	307	1854
R1	262	273	293	320	346	352	1846
R2	246	269	276	293	327	356	1767
R3	224	269	277	282	299	336	1687
R4	246	228	264	292	283	304	1617
R5	191	257	239	271	294	297	1549
R6 3月	186	203	262	246	276	301	1474

大網白里市・乳幼児人口推移

—0歳 —1歳 —2歳 —3歳 —4歳 —5歳



大網白里市 乳幼児人口動態

児童数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
H30	256	283	313	338	357	307	1854
R1	262	273	293	320	346	352	1846
R2	246	269	276	293	327	356	1767
R3	224	269	277	282	299	336	1687
R4	246	228	264	292	283	304	1617
R5	191	257	239	271	294	297	1549
R6 2024	186	203	262	246	276	301	1474

大網は政策により人口はもっと流入する

保育利用希望者数と将来予測

希望数	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
R3	36	124	159	152	152	161	784
R4	41	98	131	160	157	151	738
R5	25	148	125	148	169	162	* 777
R6 2024	39	93	144	132	155	174	737
R7 2025	36	95	116	146	138	160	691
R8 2026	35	92	113	121	147	146	654
R9 2027	34	89	110	117	125	154	629
R10 2028	33	86	106	113	122	130	590
定員(推定)	56	101	138	149	154	156	754
ありんこ親子	0	0	4	10	10	10	34
ありんこの森	2	5	5	0	0	0	12

冒険（挑戦）するしかない

少子化は大変だ！
でもゼロになるわけではない

ありんこがあるから
子育てが楽しくなりました
仕事をあきらめず人生を楽しめる
・・・と言われたい

地域になくってはならない保育所になる

冒険（挑戦）すると決める

私たちのテーマは『冒険』

冒険とは
夢を語り、夢に向かって進むこと

なりたい自分のために
住みたい・働きたい地域のために
主体的に挑戦する・冒険する

地域になくてもはならない保育所

= 子どもと向き合う喜びを最大限に感じるための4原則

1. 国が目指す将来像

= 日本のラストチャンス ～2030年

1) 子どもを生み、育てることを経済的理由であきらめない

2) 身近な場所でサポートを受けながら子どもを育てられる

地域になくてもはならない保育所

=子どもと向き合う喜びを最大限に感じるための4原則

1. 国が目指す将来像

=子ども真ん中社会の実現

3) どのような状況でも子どもが健やかに育つという安心感を持てる

4) 子どもを育てながら人生の幅を狭めず、夢を追いかける

地域になくてもはならない保育所

= 子ども・子育て世帯を切れ目なく支援する

2. 子育て支援への取り組み

= 保育所を選ぶのは保護者

- ・ 保護者から相談される存在となる
- ・ 子ども誰でも通園制度への対応
- ・ 多岐にわたる福祉・支援策の知識
- ・ 親子関係形成支援講座etc
- ・ 地域子育て支援（すくすく）
- ・ 妊産婦のメンタルヘルス

= 保護者からの信頼を得る

地域になくてもはならない保育所

= 子ども・子育て世帯を切れ目なく支援する

2. 子育て支援への取り組み

= 保護者に寄り添う

- ・ 小1の壁打破
- ・ 社会的擁護児・障害児をケア
- ・ ひとり親家庭の自立支援
- ・ 貧困対策
- ・ ヤングケアラー対策
- ・ 多様な働き方・子育て両立支援

体験・挑戦型 児童福祉施設を目指す

幼児教育・保育の質を向上させる

保護者に子育てを楽しむことを
体験してもらう
子育ては未知の体験であり挑戦でもある
そのための種々なる支援を行う

私たちも保育事業を通して
挑戦・冒険を楽しみ
なくてはならない児童福祉施設となる

微差の差を積み重ねる

日本人の特性

工夫を重ねていく 積小為大

- ・ 料理： 出汁の工夫、アミノ酸
- ・ 綺麗にする： 掃除の心、トイレ
 - ・ 品種改良 いちご、米 …
 - ・ 伊勢神宮 神社仏閣の建造技術
 - ・ 半導体 生産材、検査技術
 - ・ 伝統工芸 輪島塗、筆、櫛
 - ・ 自動車 エンジン・低燃費
- ・ 保育の環境を整える
- ・ 体験・冒険 生きていく力を育む
- ・ 保護者に寄り添う 相談力

私たちはなにができるだろう？